

第48回
全国設備管理強調月間

“モノづくり現場の改善”が大集合!!

[活動事例発表会]とは

モノづくり現場における活動の成果を各社よりご発表いただき、
職場の活性化と、企業の発展に寄与することを目的としています。

活動事例 発表会2020

Good Idea !!



東京地区大会

来場人数定員有

[主催] 公益社団法人 日本プラントメンテナンス協会

[後援] 経済産業省、厚生労働省、環境省、愛知県、福岡県

他社の取り組みを
マネして、考えて、進化させて、
ヒントが見つかる発表会!!

現場の
改善・工夫
どうしてるの?

人材育成
ダイバーシティ
デジタル技術の活用
は??

発表数

11 事例

ご発表予定企業様

旭化成株式会社／出光興産株式会社／サンデン・オートモーティブ
コンポーネント株式会社／ジヤトコ株式会社／昭和電工株式会社／
株式会社SUBARU／東レ株式会社／日産自動車株式会社／
富士フイルムフォトマニュファクチャリング株式会社 (敬称略・50音順)

日にち

2020年

9月15日 火

申込み

webサイトの「セミナー・イベント」から
お申し込みください。



JIPM

検索



場所

タワーホール船堀

(江戸川区船堀 4丁目1番1号)

問合
わせ

公益社団法人 日本プラントメンテナンス協会

Tel : 03-6865-6081 (内線3)

E-mail : fukyu@jipm.or.jp

感染防止に配慮した開催をします

社内事務局・お問い合わせ



公益社団法人 日本プラントメンテナンス協会
Japan Institute of Plant Maintenance

活動事例発表会2020 東京地区大会プログラム

受付 10：00 ～ 2 階イベントホール「福寿」「桃源」前

10：30～10：35	開会あいさつ			
10：35～10：55	1	製品切断機 切断不良による品質不良撲滅 ジヤトコ株式会社 素形材工場 工務部 保全技術課 大嶽 佑騎	慢性化していた設備故障に対しての改善と同時に品質リスクをも抱えた問題に対し、保全の粘り強い意地と精神で問題解決に取り組んだ。活動を通じて、保全としての今後の課題が炙り出されたと同時に、TPM の重要性を再認識するきっかけとなった事例を発表する。	
10：55～11：15	2	PX シリンダーブロック 1 次ライン 1M/C 着座異常低減 サンデン・オートモーティブコンポーネント株式会社 生産本部 製造部 部品製造 1 課 1 係 鈴木 美津穂	従来の男性中心のサークルから紅 2 点がメンバーに入り、新たな女性目線により、今まで見過ごしていた生産ロスに対する分析手法の実践、他部門を巻き込んだ不具合現象の要因解析等、今までの固定概念を打ち破り、ねばり強く活動を展開した。この結果、目標を見事にクリアした事例を発表する。	
11：15～11：35	3	インスタントフィルム加工機 2台/人稼働体制構築 富士フィルムフォトマニファクチャリング株式会社 神奈川工場足柄サイト インスタント生産部 鍵和田 尚希	これまでインスタント(チェキ)フィルムの加工設備は 1 人が 1 台を担当していたが、2 台担当することにチャレンジした。前後の工程も巻き込んで、ECRS に沿った作業効率化活動を推進、ムリのない作業負荷で 2 台担当を達成した事例を発表する。	
11：35～11：55	4	アクリルパウダー収率改善 旭化成株式会社 製造統括本部 川崎製造所 アクリル樹脂製造部 PMMA製造課 製造係 交替オペレーター 菊池 進太郎	私たちの工場では、アクリル樹脂のポリマーを製造している。その一つの製品であるアクリルパウダーの製造は、過去の製造実績を見ても解らないことばかりで、トラブルは慢性化していた。そこで、現場力を発揮し、製造部みんなの「笑顔」を取り戻すため立ち上がったチームが製造部を巻き込んで改善に成功した事例を発表する。	
11：55～13：05	休憩（昼食の提供はございませんので、近隣の飲食店をご利用ください）			
13：05～13：25	5	自主保全技能の復活と伝承 ～現場自主保全力のレベルアップ・設備総合効率の向上～ 日産自動車株式会社 横浜工場 第一製造部 アクスル・電動パワートレイン課 大矢 修平	若手や経験の浅い作業者が多い中、手強い設備を使いこなす難しさや、生産量が多く負荷が高くなるにつれて薄れた自主保全技能の復活と技能を伝承することによって改善意欲を高め、結果として設備総合効率向上に繋がった事例を発表する。	
13：25～13：45	6	飲料水滅菌剤補給時間の短縮 出光興産株式会社 千葉事業所 動力課 蟻坂 亮介	飲料水は井戸水を使用しているが、その水の中には食中毒や感染症を起こす細菌類が含まれている可能性があるため、滅菌剤を注入して水質基準を満たし飲料水としている。この滅菌剤の補給に時間と労力が掛かり負担となっていたことから、滅菌剤補給方法の改善を実施し、補給時間を短縮させた事例を発表する。	
13：45～14：05	7	カムキャリア 油穴バリ取りブラシ破損対策 株式会社SUBARU 製造本部 群馬製作所 第3製造部 工具刃研課 刃研係 班長 池田 純一	ライン立ち上げ時から、原因不明のバリ取り用ブラシ破損が慢性的に発生し、生産性阻害要因の一つであった。また、ブラシが破損する事でエンジン内にバリ残りが発生し、エンジン焼き付きなど重大な品質不良に繋がるため、破損対策ブラシを考案～作製し、ブラシの原単位低減と加工職場の生産性向上に繋がった事例を発表する。	
14：05～14：25	8	東レ三島工場 医薬品製造設備の工程安定化 東レ株式会社 三島工場 工務部 工務保全課 岡部 晋也	医薬品製造工程安定化の一環で特別品質活動としてチョコ停対策を目的に生産工程可視化システムを導入し、原因究明の強化および問題解決に繋げている。また、これらのトラブル対策事案を製造・保全相互教育の中でポイントを教育するとともに、定修時の設備管理項目へ落とし込み、製造・保全相互での予兆管理強化による再発防止に取り組んでいる事例を発表する。	
14：25～14：35	休憩			
14：35～14：55	9	振動式モーター管理強化による系列停止削減 旭化成株式会社 生産技術本部 設備技術センター 富士設備技術部 富士電計技術課 関根 誠人	肥料製造の造粒工程では、粉体を篩（ふるい）にかけ粒径均質化をはかっている。当該篩分機では大型振動式モーターの故障が多く、復旧対応や系列停止による損失が過去からの大きな課題であった。今回は、管理方法を検討・実践することで故障ゼロを達成した事例を発表する。	
14：55～15：15	10	オフライン洗浄機 洗浄油管理適正化 ～品質診断への第一歩～ 株式会社SUBARU 群馬製作所 本工場 第1製造部 第1保全課 第1プレス保全係 松本 翔	今年度の 1 保全課が掲げる【設備から品質を造り込む足掛かりとして、品質診断を進め、良品条件の見える化を確立する】の方針に沿ってプレス品質の永遠の課題であるビンデボ不具合に着目したとき、プレス材料のすべてに影響するオフライン洗浄機を改善する事で品質向上に貢献できる可能性があり、浄油状態の見える化に取り組んだ事例を発表する。	
15：15～15：35	11	AX プラント プロセス総点検 昭和電工株式会社 川崎事業所 千鳥製造部 AX課 有村 真哉	IPN プラントは 50 年以上事業を継続しているが運転員の世代も変わり、若年層が増えてきていることから、プロセスの安定化とプロセスに強い人財の育成を目的としてプロセス総点検を行ってきた。本活動では、装置・プロセスの不具合個所の抽出と復元・改善を行い、運転管理基準の根拠を学び、プロセストラブルの削減および運転のスキルアップを達成した事例を発表する。	
15：35～16：05	休憩			
16：05～16：25	表彰式（5階小ホール） 第 48 回全国設備管理強調月間入選作品の表彰、優秀改善賞・奨励賞の表彰			

第48回 全国設備管理強調月間 東京地区実行委員

（敬称略）

□委員長 日産自動車株式会社

和田民世

□委 員

ジヤトコ株式会社

加藤直樹

□委 員

富士フィルムエンジニアリング株式会社

小野貴史

□副委員長 旭化成株式会社

友浦誠一郎

大日本印刷株式会社

嶽精二

ボッシュ株式会社

山田貴史

□委 員 サカタインクス株式会社

上江利幸

株式会社高田工業所

中村公孝

横浜ゴム株式会社

吉川元和

サントリー食品インターナショナル株式会社

岩淵彰範

東レ株式会社

大北享太

JFEスチール株式会社

宮川和也

トヨタ自動車東日本株式会社

松岡俊哉

（2020年7月1日現在）

お申込みはホームページから ➡ <http://www.jipm.or.jp>
またはファクシミリで ➡ ☎ 048-470-2702

■参加料（1 名あたり、テキスト代を含む ※昼食の提供はありません）

日本プラントメンテナンス協会会員（正会員・事業所会員） 日本能率協会法人会員 協賛団体会員	一 般
13,750 円（税込み）	18,700 円（税込み）

■キャンセル規定

- 参加予定の方が当日参加できない場合は代理の方がご参加ください。代理の方の参加も不可能な場合は、下記の規定によりキャンセル料を申し受けます（キャンセルはファクシミリでのみ申し受けます）
- 開催当日および前日の参加取消し・・・参加料全額（参加料入金済の場合、返金いたしません）
- 開催の約 2 週間前より、派遣窓口ご担当者様あてに受付票・会場案内と請求書を送付いたします。請求書が届き次第、小会指定の銀行口座にお振り込みください。なお、振込み手数料は貴社にてご負担ください
- ※いずれも土日曜・祝祭日を含みません

■会場案内

- タワーホール船堀（東京都江戸川区船堀 4-1-1）
- 請求書・受付票に会場案内を同封いたします

■ご注意・お願い

- 天変地変や伝染病の流行、研修会場・輸送等のサービスの停止、官公庁の指示等の小会が管理できない事由により、発表会の内容変更・中止のために生じたお客様の損害については、小会ではその責任を負いかねます
- 録音・録画に使用する機材の持込みをお断りいたします

■参加申込み方法

- 小会ホームページからお申込みいただくか、右記申込書に必要事項を記入のうえ、ファクシミリにてご送付ください。電話での申込みは受け付けておりません
- 定員となり次第、締め切ります
- ご参加には受付票が必要です。必ずご参加前に受付票の到着をご確認ください。なお、開催直前に申込みの方には、受付票をお送りできないことがあります。その場合は申込み時に電話で確認のうえ、ご来場ください
- 開催の約 2 週間前より、派遣窓口ご担当者様あてに受付票・会場案内と請求書を送付いたします。請求書が届き次第、小会指定の銀行口座にお振り込みください。なお、振込み手数料は貴社にてご負担ください
- ライブ配信（有料）を予定しております。詳細は決まり次第小会ホームページにてご案内いたします

■感染予防の対策について

- 厚生労働省などの指針に従って感染予防の対策を実施いたします

■申込みについての問合せ先

株式会社アイ・イーシー 通信教育・セミナー受付センター
電話：048-470-3710 E-mail：seminar@iecj.com

※小会ではセミナー・イベントの申込手続きに関する業務を株式会社アイ・イーシーへ委託しております

■大会の詳細についての問合せ先

公益社団法人日本プラントメンテナンス協会 普及推進部 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町3-3神保町5Fビル5階
電話：0120-451-466 E-mail：fukyu@jipm.or.jp

*太線の枠内のみご記入ください

MA1017		全国設備管理強調月間記念行事 活動事例発表会2020 東京地区大会		開催日 2020年9月15日(火)					
※いずれかにし印でチェックののち、左記参加料の表より参加料金・人数・合計額をご記入ください									
☐ 日本プラントメンテナンス協会会員（正会員・事業所会員） ☐ 日本能率協会法人会員 ☐ 協賛団体会員 ☐ 一 般									
@		円（税込み）×		名＝合計					
ふりがな				円（税込み）					
ふりがな									
会社名				事業場名					
ふりがな				ふりがな					
派遣窓口 ご担当者				所属・役職					
所在地		〒		電 話					
				ファックス					
E-mail(連絡用)		@							
備 考 欄		受 付		登 録					
				発 送					
■個人情報に関する取り扱いについて ご記入いただいた個人情報は、当発表会の運営・管理・資料送付、出欠の確認等に利用いたします。また、後日、小会より事業・サービス・セミナー等のご案内を送付させていただく場合がございます。小会は、ご提供いただいた個人情報を小会のプライバシーポリシーに則って安全対策を施し適切に管理いたします。小会のプライバシーポリシー、個人情報の開示・訂正・削除等の詳細につきましては、小会ホームページ(http://www.jipm.or.jp/)をご覧ください。									